

## グラフ分析

全自交労連は昨年12月15日より「春闘、生活・労働実態調査」を行いました。組合員の平均年収は約282万7710円となり、13万5千円昨年よりも増額となりました。年齢構成では50歳台と60歳台を合わせると昨年と同様に75%台を占め、ハイタク産業が高年齢に支えられていることが分かります。「平均年齢」は55.08歳、昨年が54.8歳でしたので益々高齢化が進んでいます。もっとも若いのが昨年と同様に富山の48.75歳でトップ、続いて東京の51.71歳、愛知の52.82歳と続き、もっとも高いのが埼玉の63.56歳、続いて福岡の62.82歳となっています。昨年よりデータが少ないので昨年と単純に比較ができません。「平均勤続年数」は11.38で昨年続き少しづつ短くなっています。平均勤続年数が5年未満はなく。山口の5.63年、福岡の6.18年、熊本の6.43年と続き、後は8年以上になります。最長の平均勤続年数では、今年も青森の20.75年ですが、約4.3年短くなりました。「平均勤続年数」は11.38で昨年続き少しづつ短くなっています。平均勤続年数が5年未満はなく。山口の5.63年、福岡の6.18年、熊本の6.43年。最長平均勤続年数では青森の20.75年ですが、昨年より約4年短くなりました。

### Q 3. 1ヶ月の生計費

「月間の平均生活費」は、約18万9700円で昨年と比較しますと約3300円低く、家計の切り詰めが昨年より更にきつく行われたことが見られます。20万円以上の地域は、群馬、福井、宮城、東京、大阪、富山、埼玉、兵庫、千葉の9地域になっています。昨年との比較では、11地域から2地域減となっています。

### Q 5.家計の年間所得

「平均年収」は、282万7700円で昨年より、約13万5400円増加しました。300万以上は、富山、東京、愛知、埼玉、群馬の5地域となり、昨年の4地域より1地域増えました。200万円以下は、青森、愛媛の2地域となって、昨年の8地域より、6地域減少となりました。

### Q 6.世帯当たりの年間所得

「世帯当たりの年間所得」の平均で、一番高いのは、福井の約583万円、続いて富山の557万円で、そのあと愛知、埼玉、長野、東京、群馬、新潟、宮城、広島、石川の11地域が、年間400万円を超える地域となっています。

### Q 7.世帯の家計状況

「世帯の家計状況」では、「ゆとりがある」が昨年と同じ7%。「収支がトントン」が、昨年より2%増え48%になっています。「貯金等を取り崩している」が昨年より4%減

少して32%になっています。

#### Q 8.家計の貯蓄状況

「家計の貯蓄状況」で見ますと、「100万円以上の貯蓄がある」もしくは、「100万未満の貯蓄がある」と答えた世帯数は32%で、昨年より24%減少しています。「貯蓄が無く借金がある」が昨年より更に1%減って29%になりましたが、依然として厳しい状況が続いています。

#### Q 9.いくら賃上げを望みますか

「この春闘でいくら賃上げをのぞみますか」では、「10000円以上」と答えたのが全体の42%となり、「7000円から10000円未満」と答えた合計が51%と過半数を超えます。また「下がらなければ良い」と答えたのが15%で、家計の貯蓄状況にもものと考えられます。

#### Q 10.カードやチケット手数料負担がありますか

カードやチケット手数料の負担について、「負担がない」と答えたのが85%となり、「負担させている」が12%となっています。

#### Q 11.第一当事者の交通事故について

「第一当事者としての交通事故を起こさなかった」と答えた組合員は1581名全体の85%で一番多くて次が「1回おこした」で12%。両方合わせると全体の97%でした。「2回以上起こした」と答えた組合員さんは3%で昨年と比較して大幅な改善がなされています。

#### Q 12.事故の修理を乗務員負担にしていますか

「事故の修理を乗務員に負担させている」と答えた組合員は、「一定割合、一定額の負担」が、24%で、「負担させる場合もある」が24%で合わせると48%に及ぶ。逆に「負担がない」と答えたのが、49%になっています。

#### Q 13.定年65歳からどうするか

「定年65歳後あなたどうしますか」との質問に、「同じ職場で働きたい」が、46%で、続いて「まだ考えていない」が33%、「年金だけで生活」が13%、「異業種で働く」が6%と続いています。定年後の就業が難しく、なかなか探してもない現状を踏まえてアンケート回答となっているのかもしれませんが。

#### Q 14.健康について

「健康状態はどうですか」との回答で、「持病があるが薬を服用業務に支障なし」と答えた組合員さんが45%で一番多く、次いで「通院しているが、乗務に支障ない」が32%になっています。ハイタク産業の平均年齢55.08歳となっていることにも影響していると思われます。

**Q 15.どのような賃金体系を望みますか**

「どのような賃金体系がよいですか」との質問に、「固定給・一時金・退職金のある賃金体系」と答えたのが59%で一番多く、次いで「どのような賃金体系でも良い」が15%になっています。

**Q 16.ハイタク産業の将来について**

「ハイタク産業の将来について」に答えた組合員さんで一番多かったのが「今より少し悪くなる」が35%で、続いて「今よりずっと悪くなる」が27%になって悪くなるが全体の62%を占めています。ハイタク産業の置かれた状況が深刻であり、景気の変動や消費税増税の影響など長い規制緩

和によるハイタク産業の荒廃から逸脱するにも不案が解消されていな気持ちがアンケートに表れています。